

富山県議会議員 (日本共産党)

津本ふみお



今回、初めて予算特別委員会で質問をしました。
持ち時間は1時間で質問は13項目。
質問中、時間配分が気になります。

前進

みなさんと一緒に
取り組んできました

1,245人に大幅増——給付型奨学金の県内推薦

国がおこなっている返済不要の給付型奨学金。これまで対象を広げるよう求めてきましたが、来年4月に進学する学生から所得要件が緩和されます。それに向けた県内の高校、高専が推薦した人数は8月現在1,245人。昨年の118人から大幅に増加しました。

精神障害者の医療費助成。県が前むきに検討へ 知事「市町村とともに検討・研究し早期にまとめたい」



9月5日 障害者団体との懇談会 (ひづめ弘子県議らと)

8年前の障害者基本法改正で精神障害者も「障害者」と位置づけられました。この法改正の趣旨に沿い、県の医療費助成についても身体、知的障害者と同様に精神障害者も対象に加えるよう、障害者団体から求められていました。

前回6月定例会の厚生環境委員会では私が質問。今回、日本共産党のひづめ県議をはじめ自民、社民の議員が一般質問で取り上げました。

(内側のページもご覧ください。)



「大学入学共通テスト」での英語民間試験

【津本】全国高校長協会が延期を求めるなど、英語試験に民間業者を利用することに、高校や大学の当事者に懸念や不安が広がっている。民間試験の利用を中止し、教育現場や専門家の意見を踏まえ抜本的に制度を見直すよう国に求めるべきではないか。

【知事】高校生が混乱しないで安心して受験に臨めるように、国において早急に準備を整えてもらいたいと思っている。

生活保護の窓口対応の改善を

【津本】解雇され社員寮を出され住まいがない相談者に「住所の用意」を求め、働けず収入がない相談者に「まず田を処分してから来るように」と求めるなど、申請権を侵害するケースが見受けられる。窓口対応の改善を求めたい。

【県厚生部長】不適切な事例が発生することのないよう、研修の工夫、充実をし、監査を通じて徹底していきたい。

県営住宅——連帯保証人を不要に

【津本】連帯保証人を確保することが困難な人が増えている。国交省は昨年、「公営住宅管理標準条例案」を見直し保証人を不要とした。住まいのセーフティネットである県営住宅において、保証人を確保できなければ入居できないという事態を避けるために、保証人を不要とすべきと考えるがどうか。

【県土木部長】連帯保証人を求める現行制度を維持する必要があるのではないかと考えているが、他県の状況なども調査し検討していきたい。

前田川の未整備区間80mの改修を

【津本】県が管理する前田川の上流区間80mは未整備のまま長年放置状態となっている。その上流において豪雨時に冠水が発生していることから、射水市において河川整備が検討されている。それに接続される前田川の未整備区間についても改修が必要と考えるがどうか。

【県土木部長】接続部の位置や形状などで市の改修計画との調整が必要と考えており、市と協議しながら未整備区間の改修を検討していきたい。

豚コレラ 養豚農家が渋る国を動かす

昨年9月に岐阜市で26年ぶりに国内で確認された豚コレラ。豚とイノシシの伝染病で、感染力が強いため、1頭でも感染が明らかになった養豚場の豚は、すべて殺処分となります。県内でも、野生イノシシへの感染が相次いで見つかり、豚への感染拡大の危険が迫っています。

養豚農家が「豚へのワクチン接種を」と懸命な訴え 「国に強く働きかける」と知事も表明

感染を防ぐ最も有効な手段は、豚へのワクチン接種。

しかし国は、豚の輸出に不利になるとの理由で、ワクチン接種を回避。この間に感染は8府県に拡大し、14万頭の養豚が殺処分されました。（9月時点）

県内の養豚農家は豚へのワクチン接種を強く要望。それを受けて、知事は9月県議会で「ワクチン接種をすみやかに検討し対策を講ずるよう、国に強く働きかけていきたい」と答弁しました。

国の方針を転換

さらに日本共産党のひづめ県議は「国への緊急要請など、強力なアクションが必要ではないか」と9月17日の一般質問で迫りました。これに知事も「関係県と相談して対応したい」と答弁し、急きょ3日後の20日、岐阜県知事など関係8府県で共同して農林水産大臣に直接要請。国はその日にワクチン接種の方針を正式に発表しました。

ワクチン接種を一日も早く

しかし、ワクチン接種までに防疫指針の改正など、まだ手続きが必要です。

9月30日の県議会本会議では、ワクチン接種の早期実施を求める「豚コレラ対策の強化を求める意見書」とあわせて、農民運動富山県連合会が提出した「豚コレラ対策を求める請願」（紹介者はひづめ県議と津本の両県議）も全会一致で採択されました。

共産党提出の「意見書」を全会一致採択



8月8日 農水省に豚コレラ対策の強化を要望するひづめ弘子富山県議。（右から3人目。北陸信越の共産党国会議員・県議らと一緒に）

パーキングパーミット制度、年度内開始へ

障害者などに優先駐車場の「利用証」を発行するパーキングパーミット制度。

発行対象者は障害者、難病患者、高齢者、妊産婦、けが人。市町村窓口での即日交付と県への郵送による交付。「利用証」を他県でも利用できるように連携。障害者等用の駐車区画数を増加。車いす使用者用の駐車区画幅は3.5m以上——など、年度内開始にむけ具体化が進んでいます。

厚労省が保育報酬の引き下げを撤回

厚労省が10月の幼児教育・保育無償化にあわせて突然公表した、保育報酬の園児1人月600円の引き下げ。

委員会での私の指摘を受け、県が国に対し「理由が不明確、保育施設の混乱も予想される」として問い合わせ。その後、国から「改定の公表が遅れ、現場での混乱が生じた」として撤回する内容の通知がきた——と県当局が報告しました。報道によれば、自治体や施設などから厚労省に批判、問い合わせが相次いだとのこと。

バリアフリー化「特定道路」を拡大

歩道の段差をなくすなどのバリアフリー化を進める「特定道路」。

今年7月、多くの高齢者、障害者が利用する小杉駅、魚津駅周辺の2地区約8kmに、富山駅、高岡駅周辺が加わり4地区約14kmに拡大しました。同時に、指定の対象となる道路も駅周辺に限定せず広く拡充、すべての市町村において指定が可能となりました。

銭湯の入浴料、440円に値上げ

消費税増税や人件費増加などにより経営状況の悪化が認められたとして、県の生活衛生営業適正化審議会が答申。大人（12歳以上）は420円が440円に、中人（6歳以上12歳未満）は120円が130円に、10月からそれぞれ上がっています。（小人は据え置き）

5病院再編？ 国のやり方に批判続出

厚労省は9月下旬、病床削減を進めるために「再編統合の議論が必要」とする病院を実名で公表。選定の仕方は機械的な分析によるもので、県内では5つの公的病院が対象とされました。

その日の県議会厚生環境委員会では、「地域の実情を踏まえない国の機械的なやり方は乱暴」「不安をいたすらに広げるもの」などと批判が続出。県当局は、「これによって廃止ということではない。不安が広がらないように説明していく」としました。

8千人規模の全天候型スポーツ文化施設を断念 武道館機能を有する多目的施設の整備へ

健康・スポーツ環境充実検討会は8月に、「大規模アリーナは多大な建設費にくわえ毎年多額の収支差額が発生し県民の理解を得られないのではないか」として退け、「武道館機能を有する多目的施設の整備が望ましい」とする方向性をまとめました。

これを受けて県は武道館機能を有する施設の整備基本計画策定費を予算計上、既存の富山武道館と高岡武道館の統廃合について地元市をはじめ関係方面と協議を進めるとしています。



障害者等用駐車場（射水市民病院）